

[インデックスに戻る](#)

## 15. 数列

### 15-2. いろいろな数列

#### 15-2-2. 階差数列

##### 15-2-2-3. 数列の和と一般項の関係

数列  $\{a_n\}$  の初項から第  $n$  項までの和を  $S_n$  とする。  $n \geq 2$  のとき

$$S_n = a_1 + a_2 + a_3 + \cdots + a_{n-1} + a_n$$

$$S_{n-1} = a_1 + a_2 + a_3 + \cdots + a_{n-1}$$

であるから

$$S_n - S_{n-1} = a_n$$

が成り立つ。また、

$$S_1 = a_1$$

である。

数列の和と一般項の関係

数列  $\{a_n\}$  の初項から第  $n$  項までの和を  $S_n$  とすると

$$a_1 = S_1$$

$$n \geq 2 \text{ のとき、 } a_n = S_n - S_{n-1}$$

(例)

数列  $\{a_n\}$  の初項から第  $n$  項までの和を  $S_n$  とする。

$$S_n = n^2 + 2n$$

が成り立つとき、 $\{a_n\}$  の一般項を求めよう。まず

$$a_1 = S_1 = 1^2 + 2 \times 1 = 1 + 2 = 3$$

である。 $n \geq 2$  のときは

$$\begin{aligned} a_n &= S_n - S_{n-1} \\ &= (n^2 + 2n) - \{(n-1)^2 + 2(n-1)\} \\ &= (n^2 + 2n) - (n^2 - 2n + 1 + 2n - 2) \\ &= (n^2 + 2n) - (n^2 - 1) \\ &= 2n + 1 \end{aligned}$$

すなわち、 $n \geq 2$  のとき

$$a_n = 2n + 1 \quad \cdots \textcircled{1}$$

関係式①は  $n = 1$  のときにも成り立っている。よって

$$a_n = 2n + 1 \quad (n \geq 1)$$

(例)

数列  $\{a_n\}$  の初項から第  $n$  項までの和を  $S_n$  とする。

$$S_n = n^2 + 2n + 1$$

が成り立つとき、 $\{a_n\}$  の一般項を求めよう。まず

$$a_1 = S_1 = 1^2 + 2 \times 1 + 1 = 4$$

である。 $n \geq 2$  のときは

$$\begin{aligned} a_n &= S_n - S_{n-1} \\ &= (n^2 + 2n + 1) - \{(n-1)^2 + 2(n-1) + 1\} \\ &= (n^2 + 2n + 1) - \{(n^2 - 2n + 1) + (2n - 2) + 1\} \\ &= (n^2 + 2n + 1) - n^2 \\ &= 2n + 1 \end{aligned}$$

すなわち、 $n \geq 2$  のとき

$$a_n = 2n + 1 \quad \cdots \textcircled{1}$$

関係式①は  $n = 1$  のときには成り立たない。よって

$$a_n = \begin{cases} 4 & (n = 1) \\ 2n + 1 & (n \geq 2) \end{cases}$$

[インデックスに戻る](#)